

北神けいろうの国政報告：8月号

○ いつも大変お世話になっております。

国会が閉会中なので、地元を精力的に歩いています。各地域でも夏祭りが開催されているので、できるだけ顔を出させていたいただきたいと思います。

○ 先月は、北朝鮮のミサイル実験の問題が発生。相変わらず不誠実極まりない「瀬戸際外交」。誠にけしからん話であります。政府が国連で制裁決議案を提案したのは積極的な行動で評価できます。しかし、結果、中国・ロシアに反対され、アメリカなどの比較的消極的な対応の中、批難決議という形でしか合意できませんでした。言葉で批難されて、北朝鮮が易々と姿勢を正すとは到底思いません。今後、金融制裁を含めて、さらに圧力を高めて行くことが求められています。

○ 今回は、一連の対北朝鮮外交で私たちがしっかりと認識しなければならぬ点について触れたいと思います。



国政報告会開催案内 (西京区版)

詳細に関しましては、ホームページもしくは、北神事務所へお電話(075-315-3487)にてお問い合わせ、ご確認ください。

① 一つは、多くの日本人に見られる「国連に任せていれば、全て良し」という幻想を捨てる必要があります。もちろん、私は、国連は多くの問題を抱えながらも、国際秩序の維持のために大事な役割を果たしていると思います。

しかし、厳密に言えば、国連という独立した機関はないのです。それはたくさんの主権国家の集まりであります。したがって、国連の決定は、それぞれの国家の利益や思惑に大きく左右されるのは当然であります。今回の中国・ロシアの対応はいい例です。

② 今一つは、日米同盟に対する安易な依存を改めないといけないということです。当然、日米同盟は日本の安全保障にとって極めて重要であることは間違いありません。

しかしながら、同盟と言っても、それぞれの国が最大限自力で防衛に取り組んでいることが大前提。北朝鮮がミサイルを発射しても、日本海に向けられている限りは、日本人が感じる危機感と、アメリカ人が感じる危機感とは自ずと異なります。あまり同盟国に依存し過ぎていると、紛争直前の外交などにおいて、十分な抑止力を発揮できない恐れがあります。

○ 確かに、国家間の相互依存が深まっている中で、純粋な自主独立の外交や防衛も、これまた幻想であります。しかし、そうは言っても、日本の現状は酷すぎます。自分の国の運命を、できるだけ自分で決められるような外交・安全保障体制の整備が焦眉の急であります。

8月5日(土)19:00～	松陽学区	北澤様宅
8月19日(土)19:00～	大原野学区	右京の里自治会館
8月26日(土)19:00～	桂学区	桂西口会館
9月3日(日)19:00～	桂徳学区	桂徳自治会館